

## 平成 31 年 3 月定例会 市長提案説明

平成最後の定例会の開催に当たりまして、所信の表明と平成 31 年度当初予算の施策のあらましを申し上げ、議会及び市民のみなさまのご理解とご協力を賜りたいと存じます。

平成 31 年度は、徳川家康公像や本市の玄関口である東岡崎駅・岡崎駅のペDESTリアンデッキを含めた駅前整備、乙川の清流を活かした遊歩道や(仮称)乙川人道橋など本市の新たな顔となるものが、目に見える形となる年となります。

同時に、私が当初に掲げた公約の大半が達成の見込みとなることにより、いよいよ政策的な仕上げをしていくため、当初予算案は「夢ある新しい岡崎を実現する予算」と位置付けたところであります。

しかし、形ができたからこれで終わりではなく、ようやく次のステップへの準備ができたものと思っております。すなわち、これからは今まで蒔いてきた種を活用して、まちに更なる賑わいを創出していくことが重要であります。

また、一人でも多くの市民と話そうと、顔の見える民主主義の実現として始めた市民対話集会をはじめ、350 回以上の講演会や政策説明会で、直接お聴きした市民ニーズを踏まえつつ、幼児教育・保育の無償化への対応や愛知病院との経営統合、藤田医科大学・岡崎医療センターへの支援を始め、福祉や医療、更には防災や教育など、地に足をつけた政策をバランス良く展開してまいります。

そして、岡崎の市民、ことに子ども達が、自らのふるさとに対し、これまで以上により大きな愛情と誇りを持てる“まち”を実現してまいります。

それでは、新年度予算の大要につきまして、ご説明申し上げます。

予算規模は、一般会計 1,300 億 2,000 万円、特別会計 689 億 7,521 万円、企業会計 607 億 9,695 万円で、各会計を合わせました総額は、2,597 億 9,217 万円となっております。

一般会計の予算規模は、前年度対比 5.3%の増となり、5 年連続で過去最高額を更新しております。一般、特別、企業を合わせました全体でも、7.6%の増となっております。なお、一般会計の歳入の根幹となる市税収入におきましては、景気の回復基調が続いていることもあり、約 708 億円を見込み、こちらも 3 年連続で過去最高となっております。

それでは、新年度予算に計上いたしました主要事業につきまして、総合計画の基本政策に沿って、ご説明申し上げます。

まず、「地域で支えあい安全に暮らせるまちづくり」であります。

犯罪のない社会は誰もが願うことであります。地域防犯活動の推進のため、防犯カメラを設置することで、犯罪の未然防止を図ることを目的に、引き続き学区総代会を対象とした地域防犯カメラの設置費補助を行ってまいります。

更に、新たに簡易設置型・防犯カメラを50台購入し、犯罪多発地域に一定期間、集中的に設置を行い、犯罪の抑止を図ってまいります。

近年は、想定を超える豪雨など、大雨の頻度が増加傾向にあります。「平成20年8月末豪雨」のような局地的な大雨や台風などから“いのち”と“くらし”を守るために、都市部における雨水対策として、ハード面においては、福岡町の上地新川の改修を着実に進めるなど、地域の排水能力の向上を図るとともに、現状の河川・排水路が機能を十分に発揮できるよう、修繕やしゅん濇を適切に実施します。

ソフト面においては、止水板設置費補助、浸透ますの支給のほか、道路冠水の深さを表示する施設を整備することで、水害に対し、安全安心なまちづくりを推進してまいります。

消防体制につきましては、屈折はしご付・消防ポンプ自動車などの更新や、消防団には救助用資機材を配備するなど、常備消防力、地域消防力ともに強化充実を図ってまいります。

また、今年度から幸田町と共同で運用しております岡崎幸田・消防指令センターにおきまして、聴覚や言語機能障がいの方が、円滑に緊急通報できるよう、音声によらない緊急通報システム「NET119」を新たに整備し、運用を開始します。

次に、「健やかに安心して暮らせるまちづくり」であります。

妊産婦に対しては、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援が大切です。特に、産後の初期段階における母子支援として、出産後4週間前後の産婦に健康診査を実施するとともに、心身の不調などにより支援が必要な産婦には、「宿泊型」、「デイサービス型」の産後ケア事業を実施してまいります。

更に、不妊に悩む方が気軽に相談ができるよう「不妊専門・相談センター」を

保健所内に設置することで、妊娠前からの支援を充実してまいります。

昨今、有名なアスリートが白血病を告白して話題となっております。一般的に、骨髄移植を希望する患者の約95%に、ドナー候補者が見つかりますが、実際に移植を受けられる患者は、60%未満に留まっていると言われております。その要因の一つに、ドナーが仕事を休めないということが挙げられております。骨髄移植を推進するため、ドナー及び勤務する事業所を支援するとともに、ドナー登録の増加を図ってまいります。

地域医療を充実させるために、4月より、愛知県がんセンター愛知病院が岡崎市立愛知病院として生まれ変わります。このことにより、高度急性期、急性期、がん医療を市民病院に集約し、市立愛知病院は、軽度急性期患者の医療を担うこととなります。将来ビジョンで定めた移行を進めるため、外来診察エリア・拡張工事のほか、結核患者用病床を整備するための基本設計及び実施設計を進めます。

また、がん診療機能の充実のため、PET-CT検査装置導入のための施設改修などを行います。このほか、更新時期を迎えた電子カルテシステムを始めとする、統合情報システムの更新も行ってまいります。なお、これまで愛知病院が行ってきた結核・感染症及びへき地医療につきましても、引き続き本市の病院事業として行ってまいります。

今後も、医療の質の向上、人材の確保と育成に努めるとともに、患者満足度の向上と紹介患者を増やす取り組みや、良質な、がん医療・高度急性期医療を主軸に、医療全般を継続的に提供することで、地域の中核病院としての使命を全うしてまいります。

また、2020年4月に開院を予定している藤田医科大学・岡崎医療センターへの支援を行ってまいります。

福祉サービスにおきましては、障がい児の日中一時支援事業や、高齢者の総合相談窓口である地域包括支援センター、介護職員の人材確保に向けた取り組み、子どもの貧困対策事業として実施している学習支援を拡充するなど、社会保障とあわせて福祉の充実を図ってまいります。

特に、子育て支援では、子育て世代の幼児教育の負担軽減を図るため、消費税率が引上げとなる本年10月から、保育園、幼稚園、認定こども園等を利用する3歳から5歳までの全ての子ども及び非課税世帯の0歳から2歳までの子ども

の利用料が無償化されます。短い期間での作業になりますが、利用者、事業者、双方に混乱が生じることのないよう、対象者の認定を始めとする各種の事務について、適切な準備を進めてまいります。

また、「放課後子ども教室」について、新たに 7 学区で実施することにより、全 47 学区で実施されることや、かねてより検討を進めておりました病児保育について、市内クリニックからの申出により、医療機関併設型での開設を見込むことができましたので、国の基準に基づいた補助を行ってまいります。

次に、「自然と調和した環境にやさしいまちづくり」であります。

市内でのごみのポイ捨てや犬のふんの放置が無くなるよう、新たに「岡崎市・生活環境の推進に関する条例」を制定し、4 月からの施行を予定しております。

更に、東岡崎駅及び岡崎駅周辺においては、まちが新しく生まれ変わることを契機に、ポイ捨て防止及び路上喫煙・禁止区域の指定をすることで、本市の玄関口が、きれいで快適な空間となるよう努めてまいります。

日常生活に欠かせないごみ出しですが、紙媒体のごみ収集カレンダーに加えて、新たにスマートフォンで、ごみの分別や排出方法等の情報を手軽に取得することができる「ごみ分別アプリ」を導入いたします。このアプリは多言語対応となっておりますので、外国人市民を含めた多くの市民に周知することで、ごみ分別の促進を図ってまいります。

次に、「賑わいと活力あるまちづくり」であります。

企業の立地需要に対応するため、阿知和地区工業団地の整備を進めてまいります。平成 31 年度は、造成のための特別会計を設置し、用地買収など事業の推進を図ることで、2024 年度末の分譲を目指してまいります。

また、地域で課題となっている通勤時間帯の渋滞緩和を図るため、阿知和地区工業団地へのアクセス道路の整備も進めてまいります。

一方で、小規模区画へのニーズにも対応する必要があります。産業立地・誘導地区を中心に、企業立地・適地として提案可能な区域に、製造・物流業を弾力的に集積誘導できるよう、アクセス道路の整備を進め、市内への企業誘致を促進することで、産業競争力の強化を図り、地域経済の活性化と雇用の維持・創出に努めてまいります。

本市の 6 割は森林が占めておりますが、森林を管理することは、地球温暖化防

止、災害防止、水源涵養等、様々な公益的機能を高め、広く市民に恩恵を与えてくれます。4月から新たな森林経営・管理制度が施行されるとともに、森林環境譲与税の譲与が行われるため、適切な経営や管理が行われていない森林の所有者と林業経営者をつなぐシステムを構築するなど、林業経営の効率化、森林管理の適正化を図ってまいります。

森林整備を推進するとともに、木材の利用促進を図ることも重要となってまいります。新たな木材商品の開発や高付加価値化、販路の拡大等を一貫して行う「地域商社」設立に向けての調査も行ってまいります。

観光産業都市の実現を目指す取組みといたしましては、観光伝道師である「東海オンエア」や、本市出身のマルチクリエイター「内藤ルネ」氏を活用した情報発信を行い、知名度の向上や来訪への動機づけを図ることで、若い世代や女性にも足を運んでもらえるよう取り組んでまいります。

同時に、従来からターゲットとしている台湾やタイに加え、新たにベトナムでのプロモーションを実施することで、外国人観光客の誘致を図るとともに、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催を見据えて、外国人観光客の満足度向上を図ることができるよう、受入体制の整備を行ってまいります。

また、本市ならではの観光資源を活用し、四季折々の魅力的なイベントを開催することで、市内外からの観光客の誘致拡大を図ります。

なお、4月に開催いたします、桜まつりのメイン行事「家康行列」におきましては、三河武士の筆頭であった酒井忠次公役として、旧額田地区宮崎学区出身の俳優「平泉 成」さんに特別出演していただきます。

次に、「快適で魅力あるまちづくり」であります。

本宿駅周辺地域につきましては、広域観光交流拠点となるアウトレットを核とした、まちづくりを進めてまいります。

平成31年度は、市街化区域編入のための手続きや区画整理手法を用いた整備計画を進めるのと同時に、地元まちづくり協議会への支援を行ってまいります。

思えば26年間の県議時代、県庁への往復時に車窓から眺めた乙川の風景、お城とマンションだけが暗やみに白く浮き上がっている夜景を見て、「これを何とかできないか？」と思ったことがリバーフロント計画のはじまりでした。

新年度はいよいよ、(仮称)乙川人道橋の完成や遊歩道などの整備を進めてま

まいります。個人的にも大変感慨深い思いがしております。

また、このエリアの価値の向上や暮らしの質の向上を図るため、Park - PFI制度による公募選定を行うなど、公民連携プロジェクトを実施してまいります。

更に、隣接する名鉄線・下流右岸を整備することで、乙川河川緑地のさらなる利用促進が図られることから、2020年春の供用開始を目指し、テニスコート、ローラースケート場、多目的広場、駐車場などの整備を進めてまいります。

東岡崎駅周辺地区の整備では、ペDESTリアンデッキの完成や台座を含めると高さ9.5mの日本一の騎馬像となる、若き日の徳川家康公像のお披露目を迎え、北東街区では、9階建ての新しいホテルと商業施設がオープンします。

岡崎駅東口では、これまでに民間駐輪場やララチャンスOKAZAKI迎賓館の開業、出会いの杜公園が開園しましたが、平成31年度はペDESTリアンデッキの完成を予定しており、賑わいのある快適で魅力的な駅前空間を創出してまいります。

そして、安全で円滑な交通の確保を行うため、地方創生・道整備・推進交付金、社会資本整備・総合交付金等を活用し、街路及び道路の整備を推進してまいります。

街路新設・改良事業につきましては、岡崎環状線や若松線の進捗を図ります。

道路新設・改良事業につきましては、矢作川右岸・南北道路を始め11路線の整備を行ってまいります。

住宅施策につきましては、住宅確保・要配慮者への支援や空き家バンク制度の推進に取り組むとともに、大阪北部地震で大きな問題となったブロック塀の倒壊などの対策に取り組めます。耐震基準に満たない住宅の除去費用と道路に面した一定の高さ以上のブロック塀等を撤去する費用を補助することで、災害に強いまちづくりを推進します。

また、老朽化の著しい平地荘の建替えを平成28年度から進めておりますが、平成31年度は第1期建設工事が完了する予定であります。引き続き2022年度末の完成に向けて整備を進めてまいります。

企業会計の水道事業会計につきましては、予算規模は、119億8,680万円で、前年度対比1.5%の増となり、純利益は3億5,161万円を見込んでおります。

安全で安心な水道水を安定供給していくため、老朽化した水道管の更新に加え、南海トラフ巨大地震に備えるため、水道管路・耐震化事業を最優先課題と位置付け、計画的かつ重点的な取り組みを行ってまいります。

下水道事業会計につきましては、予算規模は、173億5,072万円で、前年度対比1.8%の増となり、純利益は5億8,043万円を見込んでおります。

最優先課題と位置付けている老朽管対策は、下水道管渠の改築工事などを進めてまいります。雨水整備では、管渠整備として、六名雨水ポンプ場から放流する管渠や針崎雨水ポンプ場に導水する管渠の整備など、ポンプ場整備としては、六名雨水ポンプ場の整備を行ってまいります。汚水整備では、「岡崎市・汚水適正処理構想」に基づき、事業の採算性を十分踏まえ、整備を進めることなど、引き続き公衆衛生の向上、公共用水域の水質保全を図ってまいります。

次に、「未来を拓く人を育むまちづくり」であります。

多くの方が進捗を見守っております、エアコンの整備につきましては、早い所は2月から、主に、3月上旬より本格的に施工が始まります。6月末までには全ての小中学校に設置を完了し、7月から供用を開始いたします。

更に、猛暑から子どもたちを守る対策として、小中学校の夏休みを3日間短縮し、10月の第1週の平日3日間を「キッズデイズ」と名付け、新たに休日とする制度を実施してまいります。これまで真夏に行っていた、小中学校の球技大会、新人戦などを秋に移し、子ども達の熱中症にかかるリスクを避けることや、教員の時間外労働時間の削減を図りたいと考えておりますので、ご理解をお願いいたします。

学校教育につきましては、国際化の進展等に伴い、日本語指導を必要とする児童生徒が増加していることを踏まえ、日本語指導や生活適応相談を充実させることで、日本での学校生活が不自由なく送ることができるようにしていきます。平成31年度は、来日して間もない日本語が全く分からない中学生を対象に、一定期間、集中的に指導を行う初期指導教室を新たに設置いたします。

英語教育を充実させるため、主に、外国語指導助手、小学校英語支援員を小中学校へ配置するとともに、海外の子どもたちとの相互交流等、英語を発信する場を設け、児童生徒のコミュニケーション能力の向上と異文化理解を図ることで、将来に渡って国際社会で活躍できるおかげっ子の育成を目指します。なお、2020年度より実施される新学習指導要領に対応するため、外国語指導助手を

9名増員するなど業務の拡充を図ってまいります。

東京2020オリンピック・パラリンピックに向け、モンゴルアーチェリー協会と覚書を締結いたしました。去る2月20日にモンゴルナショナルチームが来日し、現在も本市で強化キャンプを行っております。平成31年度も、9月と2月の2回にわたり強化キャンプを本市で予定しており、一人でも多くの選手がオリンピックに出場できるよう支援するとともに、市民の皆様との交流を図り、オリンピックへ機運の醸成を図ってまいります。

東京オリンピック開幕直前の7月に、全面供用開始となる龍北総合運動場は、民間事業者のノウハウを十分に活かし、ハード面だけでなくソフト面も充実した、本市の顔となる新たなスポーツ施設として整備を進めてまいります。

岡崎公園は、本市の観光名所ではありますが、市指定史跡でもあります。岡崎城跡の将来にわたる保存を図りながら、史跡の本質的価値を活かした整備を実施するため、一部、石垣を毀損する樹木の伐採を行うとともに、清海堀や籠田総門などの発掘調査を実施するほか、全長400mにも及ぶ菅生川端石垣の整備工事を進めてまいります。

また、天守台石垣・発掘調査により出土した「三葉葵紋」があしらわれた金箔瓦は、お城から発見されたものとしては名古屋城に次ぐ2例目であり、岡崎城と徳川家との強い関りを示す大変貴重な資料であります。

今後は、当時を再現した復元品を製作し、出土した金箔瓦とともに岡崎城天守閣に展示いたします。

芸術文化の振興につきましては、オカザえもんを芸術監督に迎え、「オカザえもんの国内芸術祭」と題して、11月に2週間程度アートに関する展示を行います。

美術博物館では、国宝などの展示で華やかな琉球文化を紹介する「琉球の美・展」、エコール・ド・パリを代表する画家である「キスリング展」、本市出身のマルチクリエイター「内藤ルネ展」などを、おかざき世界子ども美術博物館では、新たに発見された作品を展示する「没後100年 岡崎が生んだ天才 村山槐多展」など、美術館では、郷土ゆかりの作家である荻太郎の「没後10年 荻太郎展」を開催いたします。子どもから大人まで芸術文化にふれる機会の創出を図るとともに、市外からの来館者を呼べるような魅力ある展覧会を企画してまいります。



最後に、「将来まで自律した状態が続く都市経営」であります。

経済界からも要望の高かった「コンベンション施設」について、市有地である「太陽の城跡地」を有効活用し、交流拠点施設及び乙川の水辺空間などを活用した複合事業として、公民連携によるコンベンション施設の整備や民間ホテルの誘致を進めるにあたり、事業者の募集を行ってまいります。

本市の魅力を市内外に発信していくシティプロモーションでは、「魅力づくり」と「情報発信」を軸として、これまで以上にサポーターを増やし、皆さんが、岡崎の情報を発信したくなるような取組みを展開いたします。本市のファンがさらに増加するように積極的なシティプロモーションを進めてまいります。

以上、主要事業について、ご説明させていただきました。

続いて本議会に提案しております議案について、説明させていただきます。

まず、条例議案であります。制定条例といたしましては、総合政策指針の策定の手続きを定める「岡崎市・総合政策指針条例」、水道事業及び下水道事業管理者の給与を定める「岡崎市・水道事業及び下水道事業管理者の給与に関する条例」、生活環境の美化について、市、市民、事業者等の責務を明らかにするとともに、禁止区域内における路上喫煙を禁止する「岡崎市・生活環境の美化の推進に関する条例」などの7件であります。

次に、一部改正条例といたしましては、岡崎市立愛知病院の設立等のため、職員の定数の適正化を図る「岡崎市・職員定数条例」、経済情勢等を踏まえ、議員報酬等の額を改定する「岡崎市議会の議員の議員報酬等に関する条例等」など17件、合わせて24件を提案させていただいております。

その他議案といたしましては、阿知和地区工業団地・造成事業の用地及び乙川河川緑地の用地を買い入れる「財産の取得」、スマートインターチェンジ整備事業に伴う「市道路線の認定」議案など9件を提案させていただいております。

次に、補正予算につきまして、主なものをご説明申し上げます。

始めに、一般会計であります。

国の補正予算に伴い、プレミアム付商品券利用促進事業や小中学校のエアコンを整備するための校舎改修事業などを増額するほか、教室不足が想定される岡崎小学校の校舎増築のための土地購入の計上、将来の財政需要に備えるための財政調整基金、公共施設保全・整備基金、東岡崎駅周辺地区・整備基金及び

公園施設・整備基金への積み立てを行います。

また、私立保育園等への入所者数が見込みを下回ったことによる減額、補助金の交付額が見込みを下回ったことによる減額、各事業の契約差金などに伴う減額のほか、事業の進捗に合わせた継続費の変更、繰越明許費の追加及び変更などをお願いしております。

次に、特別会計であります。

国民健康保険事業特別会計の事業勘定では、国保加入者数の減少に伴い療養給付費や、高額療養費が見込みを下回ったことによる負担金の減額、後期高齢者医療保険・特別会計では、保険料収入が見込みを下回ったことによる保険料等・負担金の減額などをお願いしております。

最後に、企業会計であります。

病院事業会計は、収益的収支では、入院収益の減額及び契約差金による減額、資本的収支では、契約差金による減額などをお願いしております。

水道事業会計は、収益的収支では、退職手当負担金などの増額、減価償却費の減額、額確定に伴う固定資産・除却費の減額、資本的収支では、契約差金による減額のほか、債務負担行為の追加をお願いしております。

下水道事業会計は、収益的収支では、一般会計からの負担金の減額、減価償却費の減額、資本的収支では、国の補正予算により管渠施設・築造工事費及びポンプ施設築造・工事委託料の増額などが主なものであります。

以上が、今定例会に提案いたしました議案の大要であります。

さて、冒頭に平成最後の定例会と申し上げましたが、いよいよこの5月には新元号となり、新しい時代が始まります。時代は代わっても、市民を想う気持ちは、何ら変わることはなく、普遍的なものであります。「岡崎に生まれて良かった」、「この街に住むことができ良かった」、市民の誰もがそう思えるようなまちづくりをしていきたい、時代の転換期にあたり、殊にそうした想いを強くしているところであります。

「温故知新」という故事がありますが、先人が築き上げた伝統、歴代行政を担ってこられた方々のたゆまない努力、それらを礎に、今を担う私たちの英知を結集して邁進していきたいと考えております。

魅力あるまちづくりはこれからが本番であります。議員の皆さまにおかれましては、今後も格別のご理解と一層のお力添えをいただきますよう、お願い申し

上げます。

以上、ご説明を申し上げますとともに、提出をいたしております諸議案につきまして、よろしくご審議の上、ご議決を賜りますようお願い申し上げます、私の説明を終えさせていただきます。ありがとうございました。